

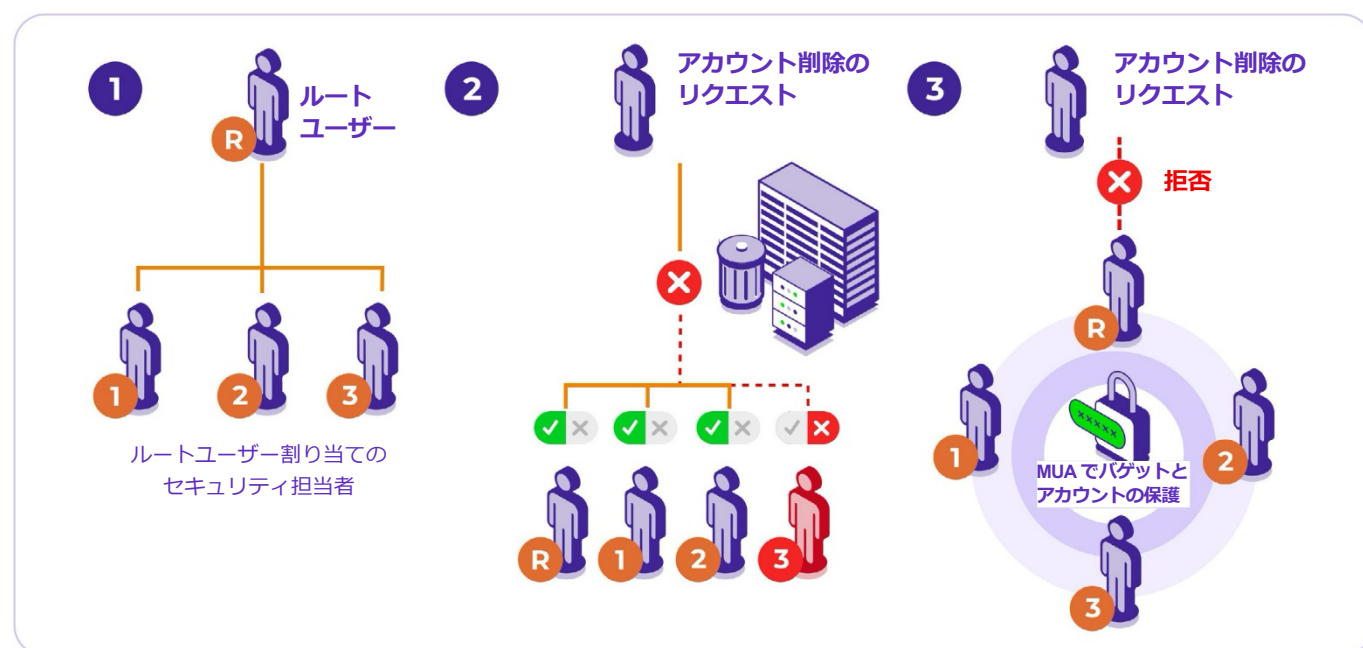
Wasabi Multi-User Authentication

サイバーレジリエントなクラウドストレージを実現する アカウントの不変性

今日、ユーザーがデータを失う原因はランサムウェア、サイバー攻撃、自然災害、ハードウェア障害など多岐にわたります。しかし、適切な対策を講じなければ、最も阻止が困難な攻撃ベクトルが 1 つあります。それは、内部ユーザーによるデータの削除です。

これは、悪意ある人物がアクセスしてアカウントを完全に削除した場合や従業員が意図せず操作を行った場合に発生する可能性があります。過失によるものであれ、意図したものであれ、その結果は壊滅的なものとなり、データまたはアカウントが永久に失われる可能性があります。

Wasabi Multi-User Authentication (MUA) は、このような最悪のシナリオから組織を保護するために特別に設計されています。制御と検証の層を追加することで、監視なしに誰かが重要な操作を実行できないようにします。



1. ルートユーザーは、アカウントおよびバケット削除のリクエスト承認者として最大 3 名のセキュリティ担当者を指定します。
2. 不正ユーザーによる削除リクエストや意図しない削除リクエストが発生した場合、承認された担当者には、割り当てられた責任に応じて、バケットまたはアカウントの削除を承認または拒否するためのメッセージが送信されます。各担当者は、リクエストを承認または拒否することで、被害を防ぐことができます。すべての担当者が承認した場合には削除されますが、1 名でも拒否するとリクエストは完全に拒否されます。
3. 削除リクエストが拒否された場合、リクエスト元と指定されたセキュリティ担当者全員に通知されます。MUA では、アカウントやバケット削除といったリスクの高い操作には複数のユーザーの承認が必要となるため変更を防止できます。



マルチユーザー認証（MUA）はどのように機能しますか？

MUA は、アカウントやバケット削除といった高リスクな操作に対するアカウント保護を実現します。MUA では、アカウントごとに最大 3 名のセキュリティ担当者の連絡先を指定できます。この担当者の連絡先は、Wasabi アカウント内のルートアカウントユーザーによって指定することができ、アカウントレベルの重要な操作を承認または拒否する権限を持つ信頼できる担当者です。アカウント削除リクエストが行われると、各担当者に通知され、処理を進める前にリクエストを明示的に確認する必要があります。担当者の 1 名でもリクエストを拒否した場合、またはリクエストから 24 時間以内に応答がなかった場合、リクエストは無効となります。

重要なのは、MUA は多要素認証（MFA）を基盤として構築されており、MFA を置き換えるものではないということです。セキュリティ担当者の追加または削除はルートユーザーのみが行うことができ、変更には MFA による検証が必要です。セキュリティ担当者が追加または削除されると、Wasabi は直ちに担当者に通知し、検証を求めるため、透明性が確保され、アカウントやバケットの改竄リスクが軽減されます。この二重認証アプローチは、多層防御（Defense-in-depth）セキュリティ戦略の中核を成し、技術的な制御をすり抜けてしまう可能性のある破壊的な行為に対して、人間による介入（Human-in-the-Loop）により防御します。

不変性の最終層が重要な理由

攻撃者がルート認証情報にアクセスした場合、あるいは内部でミスが発生した場合、アカウント自体、ひいては保存されているすべてのデータが削除される可能性があります。Wasabi オブジェクトロックなどのツールを有効にしてオブジェクトの削除や上書きを防止している場合でも、MUA は、操作を実行する前に、指定されたセキュリティリーダーの同意を求めることで、単一障害点に対するアカウントセキュリティを強化します。

MUA は単なる機能ではありません。サイバーレジリエンスの高いクラウドストレージの基盤となる要素であり、特にランサムウェアの脅威や内部のミスによって数年分の重要なデータが数秒で破壊される可能性がある今日においては、その重要性は計り知れません。今すぐ MUA を有効化して、手頃な価格で拡張性に優れ、設計段階からセキュリティを確保したストレージソリューションへの一歩を踏み出しましょう。

Wasabi ドキュメントセンターで、MUA および Wasabi のその他の推奨セキュリティ機能についてご確認ください。

【お問い合わせ】
japansales@wasabi.com

30日間の無償トライアルを
お試しください

